

看護師、介護の現場で40年 なにより、いのち第一に全力で

私のお約束―税金は暮らし第一に

子育て・教育 3つの応援

- ・18歳まで医療費は無料に
- ・義務教育の給食費は無償に
- ・高校生のタブレットに公費助成を

高齢者に 安心を

- ・介護保険料・利用料など、介護の負担軽減
- ・加齢による難聴者の補聴器購入に補助を

くらしに 3つの安心を

- ・国保料の引き下げ
- ・消費税5%減税、インボイス中止
- ・地域の公共交通の充実

若者／女性に 希望を

- ・正規雇用の拡大、最低賃金は時給1500円に
- ・給付型奨学金を充実、返済を支援
- ・学校トイレに生理用品の常備を
- ・ジェンダー平等社会の実現

地域の経済を 元気に

- ・中小企業・農業、地場産業の振興
- ・住宅・商店リフォーム助成制度創設
- ・防災対策の強化

コロナ対策に 万全を

統一協会との関与が取りざたされている
「家庭教育応援条例」は廃止

共産党は県民と2人3脚、 積極提案で政治を動かす

コロナ対策で県に14回100項目以上の申し入れ。医療機関への補助拡充、県立大学の授業料の減免、個人事業主への補助などが実現。2018年の西日本豪雨災害の際、8回の政府交渉を行い、公費負担で被災家屋、ガレキの撤去などが実現しました。私学助成の拡充を求め、前進しています。

命と向き合う―私の原点。暮らしの安心は政治の責任で

看護（協立病院）と介護（在宅福祉総合センター倉田）の現場で40年。それはまさに、命と暮らしに向き合う経験でした。
「誰でも、人としての尊厳が守られ、医療と福祉を受けられるために、政治を変えなければ」とこの思いで挑戦してきました。
4か月かけて中区の介護施設など60施設以上を訪問し、要望をお聞きしました。みなさんの願い、必ず議会へ届けます。
医療費の負担はどんどん上げる、年金の支給額は減らされる―日々届く「どうやって暮らしていけばいいのか」という切実な声。税金の集め方と使い方をあらためて、私たちの暮らしを大きく変えましょう。

【氏平みほ子プロフィール】

1950年生まれ／国立岡山病院附属看護学校卒業／岡山協立病院、岡山東中央病院、在宅福祉総合センター倉田などで看護師・ケアマネージャーとして勤務／岡山県民主医療機関連合会副会長など歴任／2011年県議会議員選挙で初当選、現在3期目／家族は夫／趣味は謡曲、ウォーキング、登山

うじひら

氏平みほ子

日本共産党

あなたの一票が、平和、くらしを守る

軍拡、大増税ストップ、岡山から岸田政権ノーの審判を

「専守防衛」を投げ捨て、米国が始めた戦争に自衛隊が一緒になってたたかえば、相手国の報復攻撃を招き、日本に戦火を呼び込むことに。日本共産党は憲法九条を生かした平和外交で、平和なアジアをつくりまします。